

小須戸公民館報

館 町 須 戸 小
報 報 報 報 報
所 所 所 所 所
中 中 中 中 中
須 須 須 須 須
戸 戸 戸 戸 戸
公 公 公 公 公
民 民 民 民 民
館 館 館 館 館
報 報 報 報 報
第 第 第 第 第
一 一 一 一 一
号 号 号 号 号
発 発 発 発 発
行 行 行 行 行
日 日 日 日 日
毎 毎 毎 毎 毎
月 月 月 月 月
15 15 15 15 15
日 日 日 日 日

小須戸公民館報 43年間のあゆみ



43年にわたる膨大な記事
いすれ今までの公民館報を縮刷版にしたいと
考えています。

小須戸公民館報第一号は昭和二十二年十月一日に創刊され、以来四十三年にわたって発行を続け、この度四百五十号を迎えることができました。そこで今回はその歴史と歩みを振り返ってみましょう。

館報の原点「小須戸文化」

終戦後の混乱期、食糧や物資が極端に不足し、人心が不安定の中で「新しい町づくりと心の潤いを求めるには文化活動が必要」との観点から、故田中四郎氏を会長とした文化協会が、二十二年二月に結成され、同時に「文化協会報」が発行されました。発行当初は半紙一枚に両面が印刷されたが、四号目ではB五版八ページの会報に内容も整って来ました。

公民館報の誕生

文化協会の理想と事業を受け継いだ公民館は、一段と文化活動の振興を計るべく「公民館報こすど」を昭和二十四年十月一日に創刊しました。

当時は故村山吉五郎町長が館長を兼任された時代で、第一号館報の内容は「小須戸文化」の句を残しつつ、当時の世相を反映した配給だより・米の供出などの記事が掲載され、町だよりとの役割も兼ね備えていました。また、紙面の大きさ・形は今と同じタブロイド版です。これは県下に先駆けて発行されたので、参考とするものがなく、当時編集長の故矢部藤三郎氏、並びに故岩崎物作氏の新聞記者としての経験を生かした結果、決定されたそうです。

このような経過を経て不定期ではありましたが発行された館報は、他町村との合併問題や、小須戸・新保・横水の三小学校統合問題が発生するなどの色々な事情から次第に町だよりとしての色合いが強くなり、八十一号からは「広報こすど」に名称変更されました。

ちよこつと一言 (51)

「忘れかけていること」
つい先日の事です。我が家にも伝染病がやってきました。長女も風疹にかかるといふ始末で私も疲れはててしまいました。子供の小さい我が家では、こういう事も年間行事の一つとなりそうなのですが、体の調子が良くなか



竜女 楠原智美さん

「健康が一番」と、つくづく思います。普段は忘れかけている事って案外とあるものですね。きつと、私の親もこんな風に眠れない夜を過ごしたのかと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。普段もこういう気持ちを持ち続けたいのですが、三日もたつと忘れてしまうのが私の現状なのです。

「広報こすど」時代

名称変更されたからの広報は写真やイラストが入るなど、読み易いように工夫されました。そして第一号発行から十二年の三十五年三月に百号が、四十六年八月には二百号が発行されました。

この時の中心記事は記念座談

会で、その中の発言に「町の広報なのか、公民館の広報なのかはつきりしない」とあります。事実、この頃の広報は町からのお知らせが大部分を占めていました。

公民館報 第一号発行の思い出

元公民館長 間野良知さん



型 タブロイド版
題字 「公民館報こすど」
字取 十一字詰、十段六十行
記事内容 館長挨拶
町行政、教育関係の外
経済、団体、文芸、社会一般等
印刷部数 二、〇〇〇部
スタッフ
発行人 海津 良助(故人)
編集人 矢部藤三郎(故人)
取材執筆外
岩崎 物作(故人)
加藤国一郎、小柳 円暢
高橋喜代治(故人)
柏 大治、間野 良知
原稿締切 九月二十一日
原稿用紙 五、〇〇〇枚印刷

館報として発行された二百一十一号で、当時館長の間野良知さんは挨拶の中で、「公民館報は皆さんのお茶の間新聞として、親しみ深いものにしたのであります。館報は皆さんの新聞であり、発表紙でもあります」と述べています。これ以後皆さんによる投稿が確実に増え、紙面の半分以上を投稿記事で占めることになりました。

第一号発行について

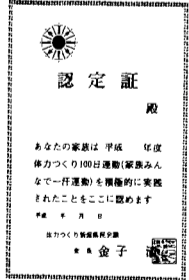
発行日 十月一日

まず実践、めざせ健康・体力づくり 体力づくり一〇〇日運動

新潟県教育委員会、体力づくり新潟県民会議主催の「体力づくり一〇〇日運動(家族みんなで一汗運動)」は、昭和五十六年から続けられてきました。

●実践種目
①ラジオ体操 ②なわとび運動 ③ジョギング ④野外活動(オリエンテーリング、ハイキング海水浴、スキーなど)
⑤体育・スポーツ行事への参加
⑥手軽な体育・スポーツ活動(キャッチボール、卓球、テニス、パドミントンなど)
●実践目標
ア、自己の健康体力に応じた運動量で、目安は汗ばむ程度。イ、一日十分、年間一〇〇日を目標とする。

●記録
実践家族及び実践者が記録カードに記入する。
●認定証の交付
実践一〇〇日以上の達成者には、体力づくり新潟県民会議から認定証が交付されます。



※記録カードは「中央公民館」または「ふれあい会館」に用意してありますので、希望者はいつでもおいでください。
※一〇〇日以上達成したら、記録カードを「中央公民館」または「ふれあい会館」へ提出してください。

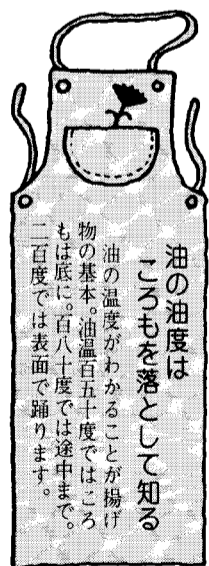
※記録カードは「中央公民館」または「ふれあい会館」に用意してありますので、希望者はいつでもおいでください。
※一〇〇日以上達成したら、記録カードを「中央公民館」または「ふれあい会館」へ提出してください。

図書室休館のお知らせ

六月二十六日(金)
※住民検診のため

※問い合わせ先
教育委員会・中央公民館

読んでつくする豆知識



油の油度は「ころもを落とす」こと知る
油の温度がわかることが揚げ物の基本。油温百五十度ではころもは底に。百八十度では途中まで。二百度では表面で跳ります。

第七回さつきマラソン大会 みんな元気に走りました

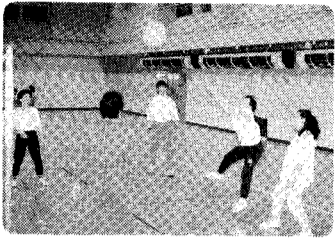
六月七日、第七回さつきマラソンが行われました。参加者は下は六才から上は八十三才のおじいちゃんと幅広く、百名の参加者がありました。
参加者全員には記録証と参加賞として小須戸町のシンボルであるさつきの花木が配られ、上位入賞者には金銀銅メダルが渡されました。



マラソン大会

- 入賞者は次の方々です。
- 〈親子マラソンの部・3km〉
子の名 親の名
一位 穴沢充・均組 15分29秒(矢代田)
二位 高野善康・安井雅敏組 15分54秒(蔵町)
三位 阿部真沙代・信行組 15分58秒(矢代田)
- 〈小学生男子の部・3km〉
一位 米田 享 13分39秒(小向)
二位 八木隼人 14分04秒(松ヶ丘)
三位 高山聖也 14分35秒(新保)
- 〈小学生女子の部・3km〉
一位 木伏寛子 13分08秒(矢代田)
- 二位 穴沢ゆか 14分34秒(矢代田)
三位 土田 恵 15分48秒(天ヶ沢)
- 〈中学生男子の部・5km〉
一位 土田裕之 25分12秒(天ヶ沢)
二位 米田 聡 25分34秒(小向)
三位 古川欣也 27分17秒(小向)
- 〈中学生女子の部・5km〉
一位 渡辺直子 31分37秒(新保)
二位 土田貴子 34分08秒(天ヶ沢)
三位 石黒久美子 25分34秒(新潟市)
- 〈高校、一般女子の部・5km〉
一位 渡辺厚子 31分57秒(中央町)
二位 菅森茂樹 41分57秒(加茂市)
三位 白井康博 43分17秒(五泉市)
- 〈高校、一般男子の部・10km〉
一位 菅森茂樹 41分57秒(加茂市)
二位 白井康博 43分17秒(五泉市)
三位 渡辺賢次 43分19秒(新保)

5月の ナイス ショット



ソフトバレーボール教室
それ、レシーブ!



体育指導者講習会
「これでいいのかな?」



小須戸分館婦人の集い
真剣な目でみる参加者

「生きがい講座」

期日 六月三十日(火)
午後一時三十分から

会場 福祉センター

お話 今井雄介先生(前中学校長)

第十四回民謡発表会

期日 六月二十八日(日)

午前十時三十分開演

会場 矢代田小学校校体育館

主催 民謡研究会

社会を明るくする運動講演会

「アメリカ人はなまけものか?」

期日 七月十日(金)

午後一時三十分より

会場 中央公民館三階ホール

お話 北垣宗治先生(新潟敬和学園大学学長)

ふくろう講座

「写真よもやまばなし」

期日 七月十日(金)

午後七時三十分より九時まで

会場 中央公民館二階会議室

お話 齊藤登市さん(本町四)

「分館催し物」案内

「小須戸分館」

分館野球大会

期日 七月十九日(日) 午前八時三十分開会(雨天の場合二十六日)

会場 スポーツ公園グラウンド

チーム うでこぎ、松、竹、梅、桜の五チーム

「横水分館」

横水分館運動会

期日 七月十九日(日)

午前九時開会

会場 横水保育園グラウンド

※雨天の場合町民体育館

「新保分館」

新保分館運動会

期日 八月三十日(日)

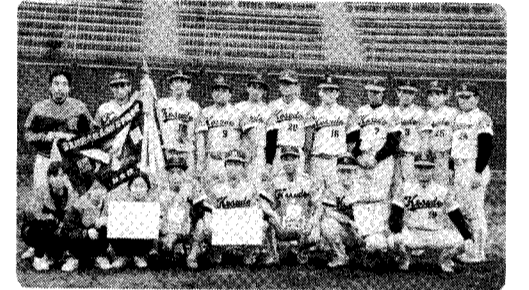
午前九時開会

リンクル収集状況



小須戸クラブ 読売旗県大会制覇

五月三十日、三十一日の二日間に行われた読売旗県大会で、第四十七回読売旗争奪軟式野球県大会で小須戸クラブが初優勝しました。



準決勝	小須戸クラブ(下越)	001000100	2
	サクソクラブ(新潟)	001000000	1
決勝	共和工業(中越)	000000100	1
	小須戸クラブ	11000201x	5

第四十七回 県展入選作品 (1)



「襲」 矢代田12
加藤和彦さん

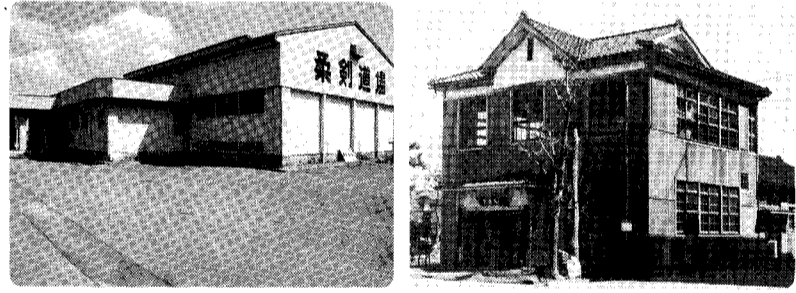
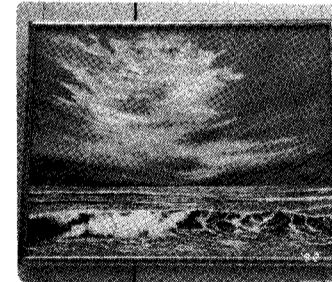


「抽象作品を素直に見てくれる人がいればいいと思います。」



「夕映え日本海」
本町3
佐藤昭作さん

「趣味で書いていたのが、運よく入選できました。」



(現在) 柔剣道場 (文京町2) (昭和42年)

明治31年の小須戸町尚武会の結成から町民の柔剣道熱は高かったが練習場はなく、公民館・警察署2階などを利用していた。そこで、昭和42年に旧小須戸警察庁舎の移築・改修を行い、武道館として使用する。その後、柔剣道人口が増え手狭になったので、昭和53年に現在の柔剣道場が新築された。

「お年寄りのお世話教室」 お知らせ 新潟県 男子警察官募集

役場では、定期的に、お年寄りをお世話しているご家族に集まっていただき、介護の悩みや工夫を話し合っています。
今回は、夏を迎えて、体の清潔や食への食事の工夫について話し合います。
現在、寝たきりや痴呆のお年寄りや家庭や病院でお世話している方、将来のために役立てたい方等、お気軽に参加してください。

一、採用人員 二十五名程度
二、採用年月日 平成五年四月一日
三、受験資格 昭和四十年四月二日から四十六年四月一日生まれの男子で、大学(短大を除く)を卒業した者。又は平成五年三月三十一日まで卒業見込みの者。

四、試験日 第一次 七月十九日(日) 第二次 八月下旬
五、受付期間 七月二日(金)まで
六、希望者 小須戸幹部派出所又は新津警察署へおいで下さい。課保健婦まで。

文芸欄

川柳
盛一つ見事にまとめる妻の舌
あじさいの見事な花に母がいる
子の古着親には野良のニールック
お見事の評価が見えぬ前衛展
吉田みな
藤井春江
保科志枝
加藤米二

俳句
蔵のある家の石楠花鶏あそぶ
耕して一番風呂に浸りけり
巫女となる舞の稽古や新樹光
空洞の幹もて茂る大棒
退院の日の初蝶を眩しめり
渋滞の中ほどに居て桃の花
いろにて雀ごゑする若楓
手をつなぐ弥彦角田や花の雲
玉村タネ
丸山栄子
篠田悦子
間野えり
小林富沙子
吉田ミナ
内山越楼
間野良遊

短歌
裏庭に鳩の巣籠る樹のありて戸の明け閉ても
気遣いする
自販機に金落ちる音大きかり待合室の客はわ
れのみ
鈴木ハナ
我妻清作
高橋キヨ

「これは言いたい」の原稿を募集しています。住所・氏名・TELを記入のうえ中央公民館「館報事務局」へ郵送、もしくは持参して下さい。匿名希望はその旨お書き添え下さい。